

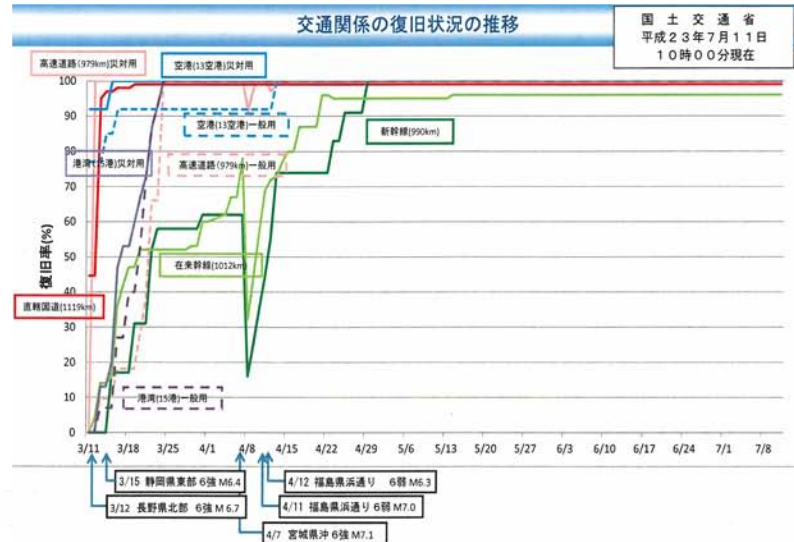
防災・減災まちづくりシンポジウム

～上総パネラーからの説明資料～

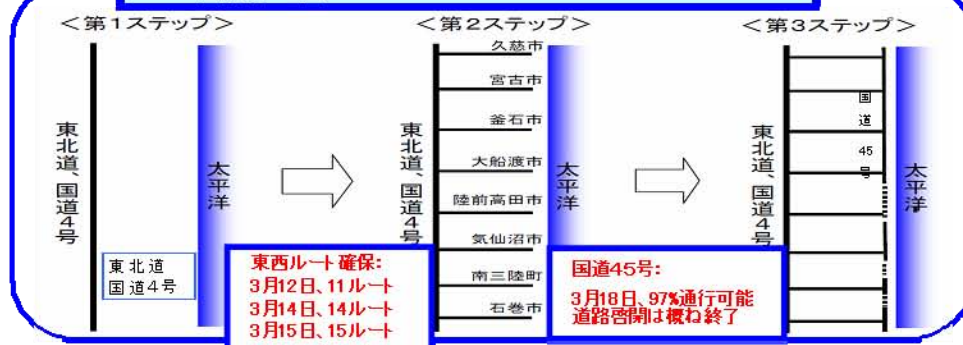
主催：近畿地方整備局

緊急輸送道路の早期確保

■東北地方整備局での交通関係復旧状況



三陸沿岸地区の道路啓開・復旧 「くしの歯」作戦

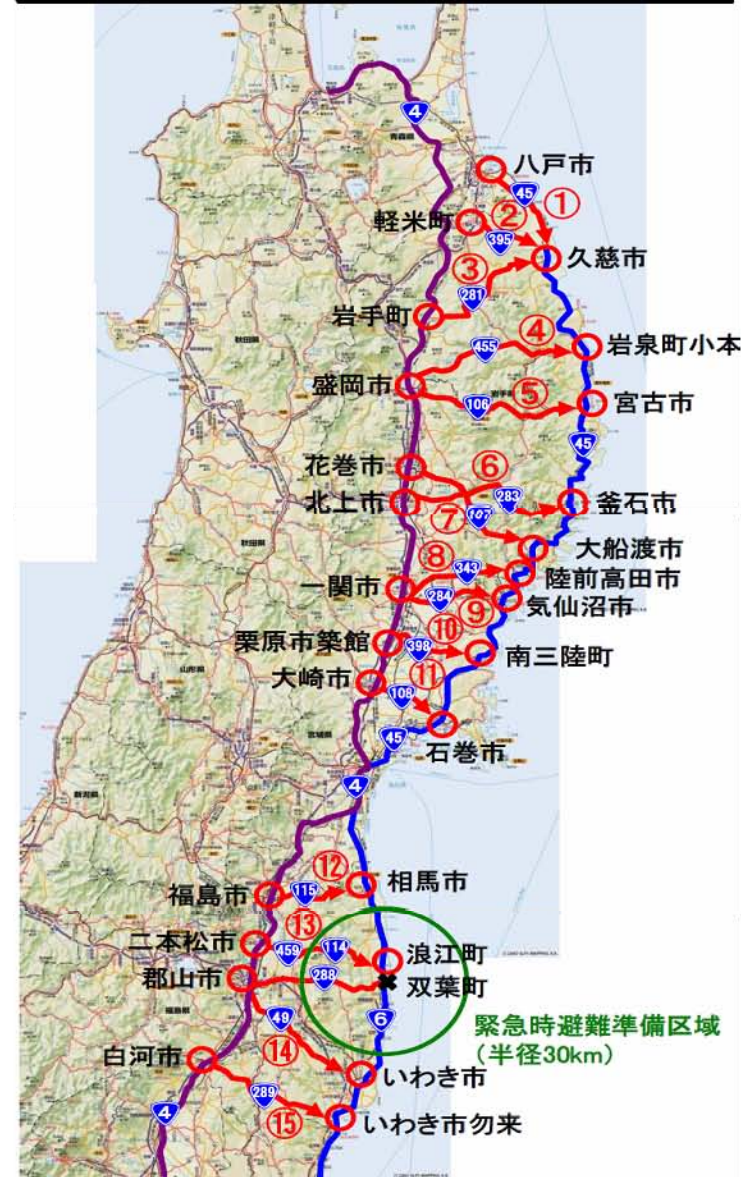


東北地方整備局が行った道路啓開の特徴

- ①橋梁の耐震補強対策により、被災が小さかった
- ②「18ルート」の「道路啓開」に集中(くしの歯作戦)
- ③災害協定に基づく地元建設業者等の協力



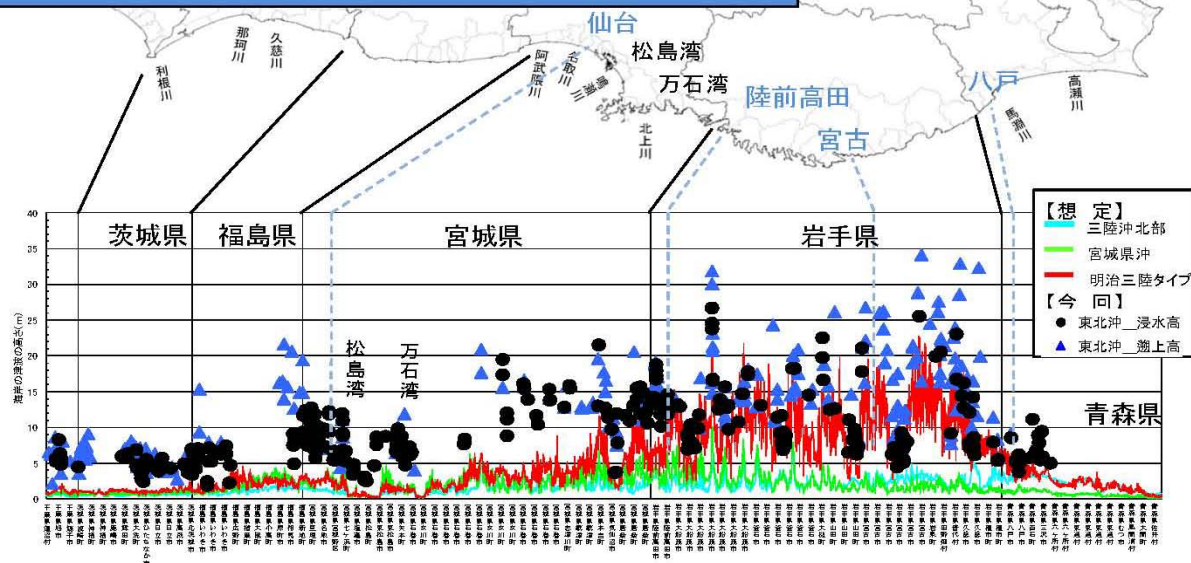
国道4号から各路線経由で 国道45号及び国道6号までの啓開状況



東日本大震災

～日本海溝周辺型地震の被害想定と今回の地震・津波被害の比較より～

・今回の津波の高さは、想定を大幅に超過



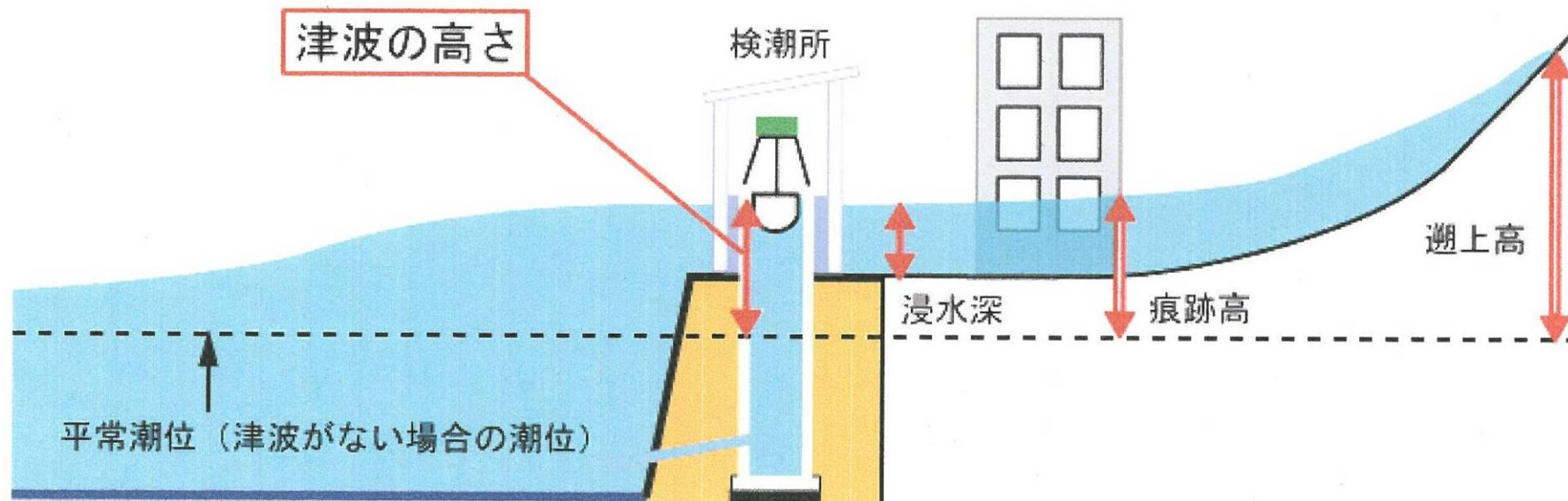
(出典)・想定3地震の津波高:日本海溝・千島海溝周辺型地震対策に関する専門調査会想定結果
 ・2011年東北地方太平洋沖地震浸水高、遡上高:「東北地方太平洋沖地震津波合同調査グループ」による速報値(2011年5月9日)。注:使用データは海岸から200m以内で信頼度A(信頼度大なるもの)痕跡明瞭にして、測量誤差最も小なるものを使用。

・今回の被害は、想定を大きく上回る

	マグニチュード		浸水面積	死者・行方不明者	建物被害 (全壊棟数)
東北地方太平洋沖地震	9.0	全国	561km ²	19,800名	113,300棟
		岩手県	58km ²	6,315名	20,209棟
		宮城県	327km ²	11,618名	75,391棟
		福島県	112km ²	1,843名	17,740棟
明治三陸タイプ(被害想定)	8.6 [※]	全国	約270km ²	約2,700名	約9,400棟
		岩手県	約50km ²	約2,100名	約6,400棟
		宮城県	約60km ²	約360名	約2,000棟
		福島県	約20km ²	約60名	約300棟

(出典)・東北地方太平洋沖地震:マグニチュード:気象庁「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」について(第15報)平成23年3月13日
 浸水面積:国土地理院「津波による浸水範囲の面積(概略値)」について(第5報)平成23年4月18日
 死者・行方不明者、建物被害:警察庁、平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震の被害状況と警察措置(平成23年9月28日)
 ・明治三陸タイプ(被害想定):マグニチュード:日本海溝・千島海溝周辺型地震報告(H18.1.25), p67。 ※再現計算を行った断層モデルから求めた値を記載
 浸水面積:明治三陸タイプ(被害想定)の被害想定(提防有り)の計算値を使用
 死者・行方不明者、建物被害:「日本海溝・千島海溝周辺型地震に関する専門調査会、日本海溝・千島海溝周辺型地震の被害想定について(H18.1.25)」、p55、p57

浸水深、痕跡高、津波の高さ、遡上高



応援・支援の状況

■近畿地方整備局の対応

■被災状況調査隊

【主な活動】

- ・国道(国道45号) ・河川(北上川)
- ・港湾(相馬港)

派遣したTEC-FORCE隊員数

合計	被災状況調査隊	リエゾン	のべ人数
173名	124名	49名	1,724名

■情報連絡担当官(リエゾン)

宮城県南三陸町及び石巻市

【主な活動】

- ・被害及び支援要請の情報収集
- ・災害対策に関する情報提供

災害対策車内支援状況



災害対策車による市役所支援(大船渡市)

■災害対策機械の派遣

▼ヘリコプター(きんき号)

- ・災害調査 ・人員輸送

▼照明車(4台/25台)

- ・自衛隊活動支援
- ・避難施設夜間照明支援

▼排水ポンプ車(10台/31台)

- ・浸水地域の排水作業

▼災害対策本部車(4台/12台)

- ・市役所機能の確保支援

▼衛星通信車(2台/7台)

- ・通信機能の確保支援
(町長とのホットライン、役場災害対応支援)

※上記()台数は

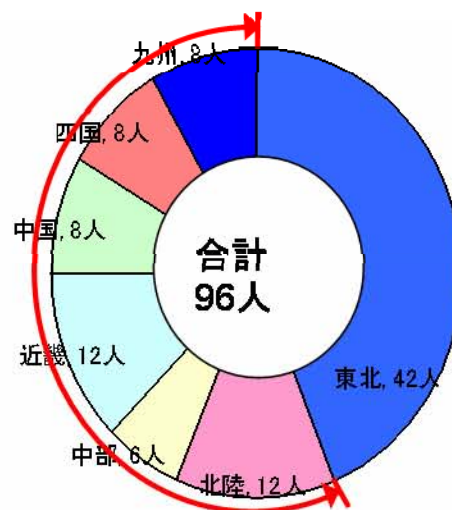
近畿地整派遣台数/近畿地整保有台数



衛星通信車による市役所支援(陸前高田市)

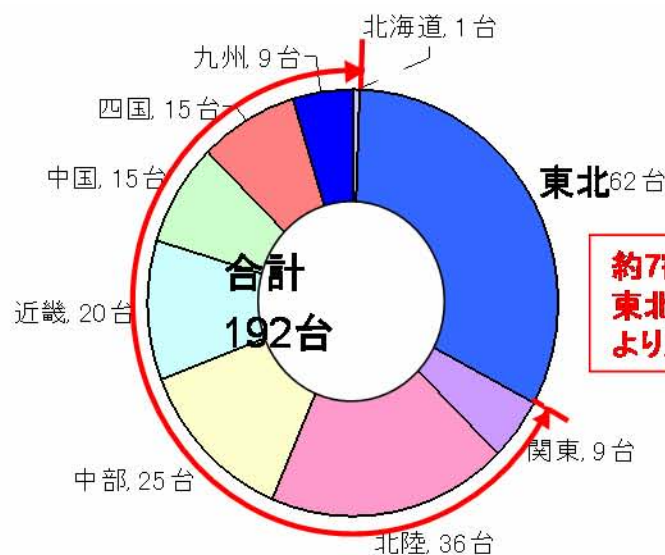


排水ポンプ車による排水作業(東松島市)



ピーク時、約8割(54人)が東北地方以外より集結

リエゾン派遣状況(3/23時点)



約7割(130台)は東北以外の整備局より集結

災害対策機械の派遣状況(4月15日)

国道42号 道路啓開の手順

- 国道42号の約8割 (163km/214km)が標高約15m以下
- 田辺市以北 : 阪和自動車道 と 国道42号 田辺市以南 : 国道42号のみ



1) 田辺市以北の地域

- ① 阪和自動車道
- ⇒ ② ICアクセス道路
- ⇒ ③ 国道42号

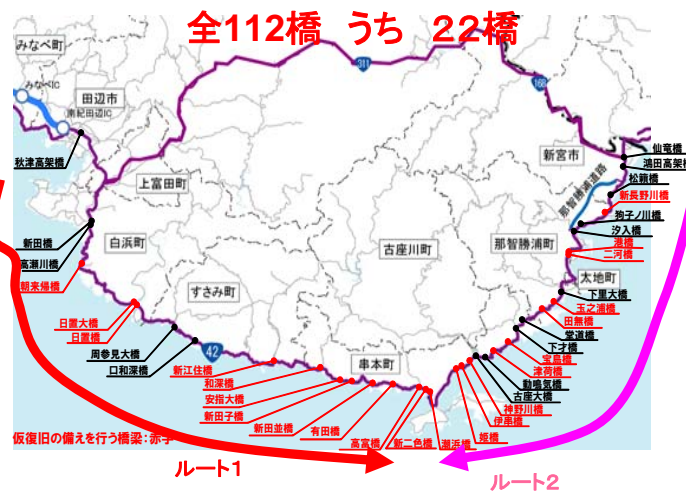
2) 田辺市以南の地域

- 田辺市側及び新宮市側からの2ルートのみ
- 津波により流出される可能性のある橋梁を事前に抽
- 早期の仮復旧及び迂回路確保のための備えが必要



■津波により流出される可能性のある橋梁

■仮復旧に必要な主な資材



H型鋼	250 t
覆工板	500 t
コルゲートパイプ	200 t
大型どこのう	1,000 袋

・4ヶ所に分散して上記資材を保管 (田辺、すさみ、串本、那智勝浦)

■仮復旧に必要な機械の確保

- 必要な建設機械 (60t吊りトラッククレーン等)
- 被災により現地での確保が困難な場合は自衛隊のエアクッション艇の輸送も検討

【自衛隊・エアクッション艇】



全長	約24m
全幅	約3m
搭載容量	60t(過積載75)
速度	73km/h

■橋梁の仮復旧の方法

